

## 5 コリンエステラーゼ活性値の見方

コリンエステラーゼ活性は有機リン系殺虫剤により低下するため、体の中に有機リン系殺虫剤がとりこまれている量の目安になります（基準値からの上昇は殺虫剤とは無関係です）。通常は測定がより簡便な血清コリンエステラーゼ活性を測りますが、赤血球コリンエステラーゼ（真性コリンエステラーゼ）活性は神経の信号を伝える物質（神経伝達物質）に近く、神経系への影響を間接的に知ることができます。なお、この検診で測定した血「漿」コリンエステラーゼ活性は、血「清」コリンエステラーゼ活性と意味が同じです。

## 前立腺ガン検診（泌尿生殖器系健康度調査）結果

2004年3月実施

氏名 様

### 総合判定

### 検査・診察結果

（数値の意味については、別紙の「今回の前立腺ガン検診結果の見方」をご覧ください）

#### 前立腺・経路

PSA(RIA)測定値      ng/ml    (基準値：4.0以下)  
前立腺推定体積      cm<sup>3</sup>  
前立腺超音波検査結果・診察所見

#### 血液中性ホルモン

テストステロン	ng/dl	(基準値：250-1100)
黄体形成ホルモン	mIU/ml	(基準値：1.22-7.05)
卵巣刺激ホルモン	mIU/ml	(基準値：2.00-8.30)

#### その他所見

#### (参考) コリンエステラーゼ活性

赤血球（男性）コリンエステラーゼ活性	U/ml	(基準値：1.2-2.0)
血漿（男性）コリンエステラーゼ活性	U/ml	(基準値：4.1-8.5)

連絡先：名古屋大学大学院医学系研究科臨床労働衛生学 上島通浩・五條雅博  
(TEL.052-744-2124)

2004年4月1日

## 研究成果の刊行に関する一覧表

### (1) 書籍

分子予防環境医学 本の泉社 2003

環境化学物質の代謝とその周辺 日本公衆衛生協会 2003

### (2) 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
<u>Kamijima M.</u> , <u>Hibi H.</u> , Gotoh M., Taki K., Saito I., Wang H., Itohara S., Yamada T., <u>Ichihara G.</u> , <u>Shibata E.</u> , <u>Nakajima T.</u> , Takeuchi Y.	A Survey of Semen Indices in Insecticide Sprayers.	J Occup Health.	46	109-118	2004
<u>Nakajima T.</u> , Yamaonshita, O., <u>Kamijima M.</u> , Kishi, R. and <u>Ichihara G.</u>	Generalized skin reactions in relation to trichloroethylene exposure: a review from the viewpoint of drug-metabolizing enzymes.	J Occup Health	45	8-14	2003

他 p106 以下を参照



20031288

以降は雑誌/図書等に掲載された論文となりますので、  
「研究成果の刊行に関する一覧表」をご参照ください。